

開発と環境シリーズ

2

# 地球環境問題と 発展途上国

藤崎成昭一編



アジア経済研究所

開発と環境シリーズ

2

# 地球環境問題と 発展途上国

藤崎成昭-編

アジア経済研究所

ふじさき しげあき  
藤崎 成昭 (アジア経済研究所経済開発分析プロジェクト・  
チーム研究コーディネーター)

もりた つねゆき  
森田 恒幸 (独立行政法人国立環境研究所社会環境システム  
研究領域長)

いとう ただはる  
伊藤 忠温 (株式会社エンテック代表取締役)

つちや はるき  
槌屋 治紀 (システム技術研究所所長)

マイケル・フィリップス (Michael Philips)  
(執筆時Program Manager: International Institute  
for Energy Conservation/現在コンサルタント)

—執筆順—

(本文第1部第2章の各執筆者の肩書きは、執筆当時のものです)

地球環境問題と発展途上国 開発と環境シリーズ 2

1993年5月10日発行◎ 定価 (本体3100円+税)

1996年1月12日第二刷発行

2002年3月28日第三刷発行

編者 藤崎 成昭

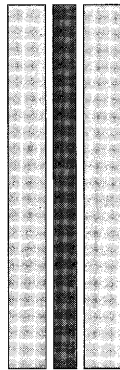
発行所 日本貿易振興会 アジア経済研究所  
千葉市美浜区若葉3-2-2 〒261-8545

研究支援部 電話 043-299-9735 (販売)  
FAX 043-299-9736 (販売)  
E-mail: syuppan@ide.go.jp  
<http://www.ide.go.jp>

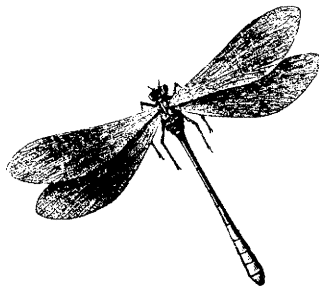
印刷所 株式会社 スギタ

ISBN4-258-24002-8 C3033

2



開発と環境シリーズ



定価 (本体3100円+税)

ISBN4-258-24002-8 C3033

## 目 次

はしがき

### 第I部 地球サミットと発展途上国

第1章 地球環境問題と途上国 .....	藤崎 成昭	3
Ⅰ 地球サミットと途上国 .....		6
Ⅱ 環境認識と「後発性の利益」 .....		13
Ⅲ 「貧困」と環境——途上国の課題 .....		22

### 第2章 地球サミットと発展途上国—各国の新聞論調から— …31

中国 (小島麗逸) .....	31	台湾 (佐藤幸人) .....	35
香港 (内田進) .....	36	韓国 (石崎菜生) .....	38
北朝鮮 (中川雅彦) .....	40	タイ (吉田幹正) .....	41
フィリピン (福島光丘) .....	44	シンガポール (作本直行) .....	45
ミャンマー (高橋昭雄) .....	47	マレーシア (木村陸男) .....	49
インドネシア (佐藤百合) .....	53	ベトナム (竹内郁雄) .....	55
インド (佐藤宏) .....	57	バングラデシュ (望月真弓) .....	59
スリランカ (中村尚司) .....	61	ネパール (井上恭子) .....	63
サウジアラビア (浜渦哲雄) .....	65	エジプト (長沢栄治) .....	68
トルコ (間 寧) .....	70	イラン (鈴木均) .....	72
イスラエル (池田明史) .....	74	ガーナ (高根努) .....	76
コートジボワール (原口武彦) .....	77	ケニア (津田みわ) .....	79
キューバ (山岡加奈子) .....	81	ブラジル (小池洋一) .....	83
ペルー (遅野井茂雄) .....	85	メキシコ (星野妙子) .....	87
アルゼンチン (宇佐見耕一) .....	88		

## 第Ⅱ部 地球温暖化と途上国開発の課題

序章 「経済成長と資源・環境」再考	藤崎 成昭	93
Ⅰ 「開発権」と成長論争		93
Ⅱ 「成長」と資源・環境		95
Ⅲ 地球温暖化の意味		99

第1章 地球温暖化問題の現状と展望	森田 恒幸	103
Ⅰ 地球温暖化をめぐる国際的議論の動向		103
Ⅱ 途上国における地球温暖化問題		110

## 第2章 温室効果ガス (CO<sub>2</sub>)

排出量の推計	伊藤 忠温・槌屋 治紀	123
Ⅰ CO <sub>2</sub> 排出源の比較		123
Ⅱ 世界各国のCO <sub>2</sub> 排出量の現状		130
Ⅲ 将来のCO <sub>2</sub> 排出量予測		141

## 第3章 地球温暖化と途上国開発の課題

Ⅰ 中国：「不足経済」の環境的帰結	藤崎 成昭	147
Ⅱ フィリピン：「資本喰い潰し」のツケ		161
Ⅲ 「定常状態」再論		172

## 第4章 地球温暖化と途上国援助

— 「最小費用エネルギー戦略」		
の可能性—	マイケル・フィリップス(藤崎成昭訳)	179
Ⅰ 問題の背景		180
Ⅱ 全般的勧告		187
Ⅲ 部門別勧告		190

Ⅳ 多国間開発銀行の課題 .....	194
結語——ひとつの代替的アプローチ .....	196

付 録：

(1) 気候変動枠組み条約全文 .....	201
(2) 北京宣言・クアラルンプール宣言 .....	231